

- (高原 健爾) 電気学会査読委員 (C 部門)
日本健康科学学会第 23 回学術大会実行委員
平成 20 年電気学会全国大会幹事補
- (辻野 太郎) IEEE 査読委員 (05 年)
電子通信情報学会 査読委員 (05 年)
計測自動制御学会 査読委員 (05 年)
Asian J. Control 査読委員
Automatica 査読委員
平成 20 年電気学会全国大会実行委員
- (梶原 寿了) 電気学会教育研究技術委員 (2005 年度～2007 年度)
電気設備学会九州支部理事 (2007 年度～)
電気学会九州支部役員 (2007 年度～)
- (山口 俊尚) 電気学会論文査読委員
日本応用磁気学会論文査読委員

(三) 情報工学科

(1) 情報工学科

(イ) 公開講座の開設状況とこれへの市民の参加状況

情報工学科では、「模擬講義」や「出前授業」といった形で、主に高校生やその保護者向けではあるが学外への公開講座を 9 講座開設し、昨年度は延べ 7 回の講座を実施した。本学科は、所属する教員が他学科の倍近い人数であるのに対し、講座数・実施数ともに他学科と同程度となっており、一部の教員が実施している状況である。

今後は学科としてより多くの教員に公開講座に参加してもらうような取り組みが必要であろう。

(ロ) 教育研究の成果の社会への還元状況

本学科では前述の「模擬授業」等を通して、情報工学の専門性を生かした興味深い講座を提供している。例えば、講座「音楽と情報処理技術」では、楽器演奏をコンピュータ上に記録する技術や、コンピュータによる自動作曲技術の紹介を行っている。受講者からは、普段から良く聴く音楽がどのような仕組みで出来ているのだろうかといった疑問が解決できたことと好評であった。情報処理技術の学習への強い動機付けになると思われる。

また、講座「情報倫理：ネット社会を生きる皆さんに知って欲しいこと」では、パケットや IP アドレス等のネットワークの基本的な仕組みを分かりやすく説明し、それをふまえ、匿名といわれているネット掲示板への書き込み等が、実は技術的には特定が容易であることや、パソコンのセキュリティ対策が極めて重要であること等を解説している。保護者や、中学・高校教員をはじめとする学生受講者以外からの反響も多く、このような「教育者」に対する教育としても役立っていると考えられる。

近年、初等・中等教育において、理科・数学離れが進んでいることや、情報化社会の急速な進展に教育が追従できていないこと等が問題となっている。このような中で、高度な専門性を持った大学教員ならではの特色のある教育を、初等・中等教育の現場へ還元することも、今日の大学における重要な役割の一つであろう。

また、本学科の教員は、下記に示すような各種学会の誘致、学会役職等担当、学外における活動各種団体委員担当等、幅広く社会貢献活動を行っている。

(A) 本学開催の国際会議、学会等誘致（延べ件数）

- ・ 国際会議 1 件
- ・ 国内全国大会 3 件
- ・ 国内支部大会 3 件

(B) 学会役職者等（延べ人数）

- ・ 役員 4 名
- ・ 委員会委員 18 名

(C) 学外における活動（延べ件数）

- ・ 専門分野に関わる講演 17 件
- ・ 専門分野に関わるボランティア 13 件

(D) 各省庁等関係委員会及び評価機関等委員（延べ人数）

- ・ 委員 5 名

(E) 自治体関係委員等（延べ人数）

- ・ 委員会委員長 1 名
- ・ 委員会委員 3 名

(荒屋 真二) 電気学会査読委員

(石井 優) 計測自動制御学会評議員 (06～07)

経済産業省地域開発支援事業事前評価委員 (02～08)

ロボット産業振興会議会員 (03～08n)

(郷六 一生) 米国雑誌 Physical Review D Referee

(徐 海燕) ACM SIGMOD 日本支部ネットワークトランザクション技術専門委員会委員

電気情報通信学会論文誌査読

情報処理学会論文誌：データベース査読九州支部

火の国情報シンポジウム 2008 座長、平成 20 年電気関係全国大会座長

(須崎 健一) 福津市情報公開審査委員 (H15～現在)

福津市個人情報保護審査委員 (H15～現在)

(田中 卓史) IEA/AIE～03、04、05、06、07 プログラム委員

KES～03、04、05、06、07、08 プログラム委員

経済産業省地域技術開発事業事前評価委員

科学技術振興機構シーズ発掘試験査読委員

科学技術振興機構ニーズ即応型査読評価委員

(西原 賢) 年 2 回の日本数学会の年回、多変数関数論の年 2 回の学会

日本・中国・韓国の数学者による年 1 回の国際会議に出席と講演を行っている。

(浜辺 隆二) (社) 電子情報通信学会教科書委員会委員 (H12～現在)

(財) 九州システム情報技術研究所評議員 (H6～現在)

福岡市新産業振興室福岡エレコン交流会アドバイザー (H8～現在)

(松尾 一壽) 学会座長 7 回 (電気学会全国大会、電気関係学会九州支部大会等)

- (山内 寛行) IEEE ISSCC Program Committee Member
IEICE ICD TPC Member
- (柴田 望洋) 陳氏太極拳協会指導員 (非営利団体)
福岡陳氏太極拳研究会会長 (非営利団体)
- (石原 真紀夫) 電子情報通信学会正員、IEEE Computer Society 正員
- (谷口 泰敏) モノづくりセンター活動
平成 16 年 7 月 第 13 回 NHK ロボコン大会参加
平成 17 年 7 月 第 14 回 NHK ロボコン大会参加
平成 18 年 7 月 第 15 回 NHK ロボコン大会参加
平成 19 年 7 月 第 16 回 NHK ロボコン大会参加
平成 15 年 9 月 種子島日本宇宙少年団種子島分団ロボット講習会参加
平成 16 年 9 月 久米島小中学校ロボット講習会

(2) 情報通信工学科

本学科における社会貢献の主なものは下記のとおり、各種学会の役員・評議員等を多数の教員が担っている。

- (バロリ レオナルド)
国際ジャーナル・ゲスト・エディタ (多数)
国際会議 General Co-Chair (多数)
国際 Workshops Chair (多数)
国際ワークショップ Organizer (多数)
国際ジャーナルおよび国際会議査読 (多数)
国際会議プログラム委員 (多数)
- (内田 一徳) 電子情報通信学会査読委員
ISMOT2005 運営委員
ISMOT2007 運営委員
- (岩重 二郎) 映像情報メディア学会九州支部評議員 (1996.4～)
日本高等教育評価機構評議員 (2005.10～)
映像情報メディア学会九州支部長 (2006.6～2007.5)
映像情報メディア学会評議員 (2006.6～2008.5)
- (若原 俊彦) IEEE COMSOC Multimedia' 94 プログラム委員
電子情報通信学会 オフィスシステム研究会幹事 (1999～2001)
MoMuC2000 プログラム委員
電子情報通信学会 和文論文誌 D 編集委員 (2001～2005)
電子情報通信学会 OIS 研究専門委員 (2001～)
電子情報通信学会 MoMuC 研究専門委員 (2001～)
電子情報通信学会 総合大会 座長 (多数)
画像電子学会 編集理事 (2002～2004)
画像電子学会 編集・査読委員 (2004～)
- (松永 利明) (社) 電子情報通信学会九州支部学生会顧問 (96～04)
(社) 電子情報通信学会学生連絡会委員 (02～04)
(社) 電子情報通信学会九州支部評議員 (03～05)
(社) 日本自動車連盟民法上の社員、
同福岡支部交通安全実行委員会副委員長 (86～07)、同委員長 (08～)

- 学校法人福岡工業大学評議員 (79～88) (94～現在)
平成 17 年度電気関係学会九州支部連合大会運営委員長 (05～06)
- (杉田 薫) 平成 17 年度電気関係学会九州支部連合大会 受付委員
平成 17 年度サイエンスパートナーシッププログラム講師
情報処理学会 DPS 研究会 運営委員
- (西田 茂人) 日本生体医工学会九州支部幹事 (04～)
日本臨床神経生理学学会評議員 (05～)
- (前田 洋) 第 10 回マイクロ波及び光技術に関する国際シンポジウム ISMOT2005 会場委員 (H15～H17 年度)
第 18 回先進情報ネットワークと応用に関する国際シンポジウム AINA2004 現地委員 (H16 年度)
(社) 電子情報通信学会九州支部 評議員 (H18～H19 年度)
(社) 電子情報通信学会九州支部 学生会 顧問 (H18 年度～継続中)
- (渡辺 仰基) 18th Int. Conf. Advanced Info. Networking and Appl. (AINA 2004) Registration Co-Chair. Symp. Microwave and Opt. Technol. (ISMOT-2005) 渉外・広報・出版委員
2006 平成 17 年度電気関係学会九州支部連合大会 開催地実行委員会 (受付委員)
2007 Int. Symp. Antennas and Propagation 査読委員
Nano Ostrava 2008 Scientific Advisory Committee
電子情報通信学会平成 20 年度電磁界理論研究専門委員会専門委員
7th Asia-Pacific Eng. Res. Forum Microwaves and Electromagnetic Theory” (APMET 2008) General Chairman

(3) 情報システム工学科

平成 19 年度は情報システム工学科の教員により、学会役員 1 名、学会委員会委員 2 名、各省庁等関係委員会委員 3 名が学会、省庁等への社会貢献を果たしている。また高校生に対しては、以下のような模擬講義、研究公開を通して社会貢献している。

- (イ) オープンキャンパス (毎年度数回) に参加し、地域の人に研究の内容を公開している。
- (ロ) 九州地区の高校を対象に、希望に応じて随時、教員が出向いて講義を行う模擬授業や IT 塾などに参加・実施している。
- (ハ) 福岡県の高校 (玄洋高校など) の学生を受け入れ、1 日体験授業を実施している。
- (ニ) 文部科学省／科学技術振興機構 (JST) のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト (SPP) として、新宮高校理数科の生徒を対象に情報システム工学分野の体験型の連携講座を実施している。

(4) システムマネジメント学科

オープンキャンパス、城東高校、新宮高校、鞍手高校、玄洋高校等への公開講座、模擬授業等には積極的に協力している。いずれも参加者からは「面白い」、「分り易い」、「為になった」など好評を得ている。これは本学科の受験者増、入学者増に結実している。

また、下記のように各種学会の役員、論文レフェリー、学外博士論文副査、学外公開講座講師等を担当している (平成 15 年 4 月～平成 20 年 6 月)。

(イ) 学会

(A) 本学開催誘致の場合(生産管理学会全国大会実行委員、電気学会全国大会実行委員等)

- ・ 全国大会 4件
- ・ 支部大会 2件

(B) 委員会本学開催誘致の場合

- ・ 国際会議 1件
- ・ 全国大会 1件
- ・ 支部大会 1件

(C) 学会役職(日本生産管理学会副会長、九州支部長、理事、日本経営工学会九州支部長、理事、幹事)

- ・ 役員 6名
- ・ 委員会委員長 1名
- ・ 委員会委員 3名

(ロ) 学外活動(日本経営工学会論文誌、Math. Journal of Okayama Univ.のレフェリー等、学外博士論文副査)

- ・ 専門分野に関わる講演 3件
- ・ 専門分野に関わるボランティア 3件

(ハ) 各省庁等

- ・ 委員長 1名
- ・ 委員 1名

(ニ) 自治体(北九州戸畑区のセミナー講師、公開講座講師等)

- ・ 委員会委員長 1名
- ・ 委員会委員 2名

(四) 社会環境学部

(イ) 公開講座の開設状況とこれへの市民の参加状況

公開講座は開設していない。公開講座ではないが、ビオトープ活動については、平成18年3月のビオトープ造成以来、市民参加による「福岡工業大学ビオトープ・里山自然観察会」を、これまで12回開催している。平成20年度は、4、6、10、11月の4回開催したが、参加人数は毎回約20~30人である。市民への呼びかけは、「NPO法人大学・地域交流まちづくり実行委員会」を通して行っている。さらに、東区の「コミュニティユース事業」に選定され、東区の支援を受けると共に、公民館や地域団体のサポートも頂いている。内容は、四季折々の自然観察を主としているが、自然の恵みを頂く活動(春はよもぎを入れたホットケーキを試食、秋は植物のつるを用いたかごづくり、など)も人気である。プログラム作成は学生が中心となって行っており、自然観察の手法としてビンゴゲームなどを取り入れるなど工夫している。その支援は、日本野鳥の会などの専門家の方にして頂いている。

(ロ) 教育研究の成果の社会への還元状況

本学部教員のこの面における社会貢献について、実績は以下のようなものである。

学会における役員担当は延べ人数約100人、学会委員会委員長は延べ人数約15人、専門